

専務のコラム



今年はホントよく雪が降りますね。皆さん風邪などひいていませんか？
巷ではインフルエンザも大流行らしいですが、実は私、インフルエンザにかかった記憶がありません。聞くところによると、これ遺伝らしいです。親がインフルエンザにかかったことがなければその遺伝を受け継いだ子供もならない（あるいはなりにくい）らしいです。
父や、母よ、元気（過ぎる）な体を有難う。

近年では病気にならないロボットが一般の生活の中でも活躍していますね。私がか子供のころは「ロボット」といえばおもちゃなのが当たり前でしたが、最近では病院に行けば自動受付。スーパーに行けば自動精算機。駅では自動改札。家ではお掃除ロボットが床を綺麗にしてくれている間にペットのロボット犬と遊ぶ、なんて事もあるんでしょうかね？（笑）



飛躍的に開発が進んだ人工知能AIは機械学習で人の感情を読み取り、会話やWi-Fi通信で多くの言語を学んでいきます。人間よりもはるかに速いスピードで進化しているのです。一昔前は人間とロボットの違いは感情があるかないか、だったのが、今ではロボットが人間の複雑な感情を学習し、相手の表情を読み取って慰めたり励ましたりするようで、人工知能の「友達」や、介護をしてくれる「家族」までロボットになりつつあるようです。



人間とロボットの違い。それは人間ならではの不完全さにあるように思います。長年の友達にも言えない隠し事や、あるいは嘘をついた経験はありませんか？大切な親の介護であってもイライラしたり、可愛い子供の世話に泣きたくなったり、過去の失敗にクヨクヨしたり、相手の言動を根に持っていたり、ひがんだり妬んだり。それでいて自分はみんなから大事にされたいと思うからややこしい。

鳥のモズには獲物を枝などに刺して備蓄する「モズの早贄」という習性があるが、その備蓄した獲物を食べる前に忘れてしまうために知能が低い「アホなヤツ」と思われていました。しかし最近の研究ではモズはロボットのように過去の記憶を写真のように覚えているとか。そのために獲物を刺した枝の葉っぱが一枚落ちただけで記憶した「写真」が変化し認識出来なくなるのです。

人間の記憶は曖昧だ。特に私、物忘れがひどい。小学生の時には既に「忘れんぼチャンピオン」の称号をもらった筋金入りである。しかし、30年ぶりの中学校の同窓会では、ほぼ全員の名前を言い当てることが出来た。モズのように写真のようにしか記憶出来なかったら、別人のように太ったKくんもNちゃんも、見事にハゲたFくんも、白髪頭のTくんも思い出すことは無かっただろう・・・。



それもこれも曖昧に記憶することの出来る人間だからこそ、なのである。

これからもAIロボットの開発は日々進化していきだろろうし益々世の中は便利になっていきだろろう。しかし、私は人間がAIに劣っているとは思わない。不完全な「脳」だからこそ「思いやり」や「感謝」、「忖度（これは違う）」といった「心」があり、人間が一番求めているものは結局「自分にとって大切な人」のような気がします。

雪が解けて、桜の蕾が咲く頃にはこの奈良山霊苑で法要祭がおこなわれます。たくさんの方が眠るこの場所には、自分にとってかけがえのない家族や友人を偲んで来られる方や、同じ思いの方々と時間を共有する場所となるでしょう。私もみなさんと久しぶりにお会いできるのを楽しみにしています。不完全な「脳」ですが・・・（`・ω・´）ゞ

